



立入が丘小学校だより



No. 5

今年の夏休み

長くて暑い夏休みが終わりました。お子さまにとって、新たな経験、学びがどれくらいあったでしょうか。今回は私の夏を振り返ってみたいと思います。

夏休み最初の日曜日に京都南座に「成瀬は天下を取りに行く」の演劇を見に行きました。南座は400年以上の歴史をもつ歌舞伎の聖地でもあり、建物自体にも大変興味をもちました。過去の学校だよりでも触れたように、物語の内容は知っています。私が本を読み想像を膨らませていた主人公がどのように演じられるのかに興味があったのですが、成瀬あかり役の山下美月さんは見事でした。私の抱くイメージをさらに色濃く描いてくれていました。これが読書と観劇の順番が逆だったら、こんな気持ちにはならなかったと思います。読書をすることで創造性が養われることに改めて気づかされました。



8月には、広島、長崎の「原爆の日」や「終戦の日」がありました。終戦から80年以上が経ち、戦争経験者も少なくなりました。しかし、多くの犠牲者を出した太平洋戦争は決して忘れてはいけません。守山市では8月6日に



「平和を誓うつどい」が開催されています。本校からも代表児童が参加し、全校で折った千羽鶴を献鶴しました。2学期には6年生が広島への修学旅行へ向けて平和学習を展開します。人の命を奪うことは犯罪です。戦争なら構わないなんてことはありません。戦争は絶対にしてはなりません。子どもたちにも戦争の歴史を学び、不戦の思いをしっかりと持ってほしいと思います。また、地球温暖化の影響による集中豪雨などの気候変動を食い止めるためにCO2削減が叫ばれている中、戦争や紛争によるCO2排出量は莫大なものがあります。戦争をしてよい理由などどこにもありません。

夏と言えば高校野球という方もあるかと思います。高校野球期間中、横浜高校の元監督、渡辺元智さんが亡くなりました。渡辺さんは人間教育に力を入れていた方で、教え子の松坂大輔さんは「栄光より挫折、成功より失敗、勝利より敗北から学びなさい」と教えられたと回想しています。私は、1学期の終業式で「挑戦するのは当たり前、失敗するのも当たり前」というある学級の目標を紹介しました。普段、我々教員は成功体験を積ませて自信をつけさせることに注力しますが、失敗しても大丈夫という空気が学級にあれば、挑戦心も湧き上がると思います。失敗を恐れず積極的に行動できる子どもたちを育てていきたいと思います。